

令和6年度 事業報告

社会福祉法人北海道拓明興社

【施設サービス】

地域交流事業の充実

従来夜間に実施しておりました納涼祭を、本年度は日中開催の「拓明感謝祭」として開催いたしました。

この変更により、地域の子どもたちにも多く参加していただけるようになり、交流を深めることができました。地域に開かれた施設として、今後もこのような取り組みを継続してまいります。

手話普及活動の継続

昨年度に引き続き、奈井江町の手話サークルとの合同開催や小学校での手話授業を実施いたしました。これらの活動を通じて、聴覚障害への理解促進と手話の普及に貢献するとともに、利用者の皆様にとっても社会参加の貴重な機会となっております。

利用者に寄り添う支援の実践

当施設では、利用者一人ひとりに寄り添うことを何よりも大切に、日々の支援にあたってまいります。

職員は利用者の皆様の日常の小さな変化に注意を払い、その方の気持ちに寄り添った声かけを心がけ、個々の趣味や関心事に合わせた活動を提供しております。

重度化・高齢化が進む中においても、利用者の尊厳と自立性を最大限に尊重し、その方のペースに合わせた支援を実践しております。職員間での情報共有を密に行い、チーム一丸となって一貫した支援を提供することで、利用者の方々に安心感を持っていただけるよう努めてまいります。

このような取り組みの成果として、ご利用者から「ここは一番良い施設。パラダイス」という大変うれしいお言葉を直接いただくことができました。この言葉を胸に、職員一同、ご利用者の皆様にとって「心地よい居場所」となるよう、より良い環境づくりに向けて努力してまいります。

【生産活動】

ご利用者の状況変化について

本年度は、ご利用者の心身機能に関して変化が見られました。年々、従来行っていた作業に対する能力の低下が進行しており、これまで可能であった製品制作活動への参加が困難になる方が増加しております。

参加形態の変化

これまでは、ご利用者の多くが製品制作に積極的に取り組み、完成した製品への達成感や作業そのものに喜びを感じていらっしゃいました。

しかし、令和6年度は少しずつ変化が見られます。今までは「製品制作をメインとする方」がほとんどでしたが、「生活リズムを整えたり日常生活の機能を維持するために参加する方」が、増加してきました。

この変化の背景には、ご利用者の加齢や入所者の障害特性の変化があります。そのため、従来の製品制作中心の活動から発展し、お一人お一人のニーズに合わせた幅広い支援を提供していく必要があると考えております。

工賃実績

令和6年度の平均工賃支給額は3,780円となりました。この金額は過去5年間でほぼ変化がなく、安定した水準を維持しております。